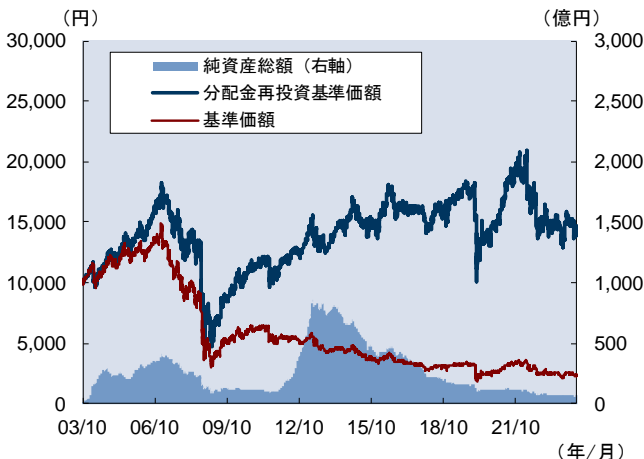


2024年5月31日現在

基準価額: 2,318円  
純資産総額: 59.8億円

設定日: 2003年10月27日  
決算日: 毎月23日(ただし、休業日の場合は翌営業日)  
信託期間: 原則として無期限

設定来基準価額推移



期間別騰落率(%)

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド(分配金再投資)	1.13	-5.06	-2.02	-2.00	-17.61	-16.12	41.69

分配金実績(円)(1万口当たり、税引前)

設定来累計: 10,875円

決算日	21/6/23	21/7/26	21/8/23	21/9/24	21/10/25	21/11/24
分配金	5	5	5	5	5	5
決算日	21/12/23	22/1/24	22/2/24	22/3/23	22/4/25	22/5/23
分配金	5	5	5	5	5	5
決算日	22/6/23	22/7/25	22/8/23	22/9/26	22/10/24	22/11/24
分配金	5	5	5	5	5	5
決算日	22/12/23	23/1/23	23/2/24	23/3/23	23/4/24	23/5/23
分配金	5	5	5	5	5	5
決算日	23/6/23	23/7/24	23/8/23	23/9/25	23/10/23	23/11/24
分配金	5	5	5	5	5	5
決算日	23/12/25	24/1/23	24/2/26	24/3/25	24/4/23	24/5/23
分配金	5	5	5	5	5	5

上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。  
上記の基準価額、分配金再投資基準価額および期間別騰落率は信託報酬(詳細は、後述の「ファンドの費用」をご参照ください。)控除後のものです。分配金再投資基準価額およびファンド(分配金再投資)の騰落率は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

組入上位銘柄\*1

合計 28 銘柄

(ご参考)当月における基準価額変動の要因分析

銘柄	業種(セクター)	比率
1 プロロジス	オフィス・産業用施設	9.7%
2 エクイニクス	多業種投資型	8.7%
3 ウェルタワール	医療・介護施設	6.8%
4 エクストラ・スペース・ストレージ	貸倉庫	5.8%
5 パブリック・ストレージ	貸倉庫	5.4%
6 デジタル・リアルティートラスト	多業種投資型	5.1%
7 VICIプロパティーズ	多業種投資型	4.6%
8 アバロンベイ・コミュニティーズ	住宅	4.4%
9 アメリカン・タワー	多業種投資型	4.3%
10 アレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズ	オフィス・産業用施設	3.8%

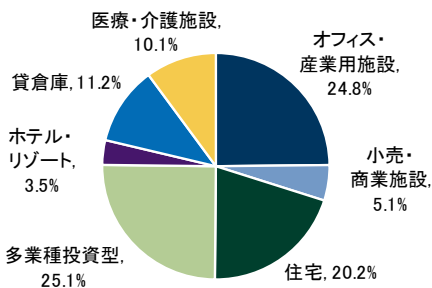
当月末基準価額	2,318	(1万口当たり、円)
前月末基準価額	2,297	
当月の変動額	21	
価格要因	37	
配当要因	2	
分配金	-5	
その他*2	-13	

\*2 その他には、為替ヘッジによるヘッジ・コスト、現金、信託報酬等による要因を含みます。

上記は簡便法に基づく概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。各要因の数値は円未満を四捨五入して表示しているため、その合計は各要因の合計と合わない場合があります。

上記は現金等を除いたデータです。

業種(セクター)別比率\*1



ポートフォリオ情報\*1

ファンド構成銘柄配当利回り	3.7%
参考指標配当利回り	4.2%

上記のファンド構成銘柄配当利回りは、費用、税金、信託報酬控除前のものです。また、実際の分配金利回りとは異なります。  
参考指標: MSCI米国REITインデックス

実質組入比率

米国リート	97.9%
現金等	2.1%

実質組入比率とは、本ファンドがマザーファンドを通じて組み入れている各資産の比率です。

上記は現金等を除いたデータです。

\*1 マザーファンドに基づくデータです。

上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場動向等を勘案して随時変更されます。

最終頁の「本資料のご利用にあたってのご留意事項等」をご覧ください。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込

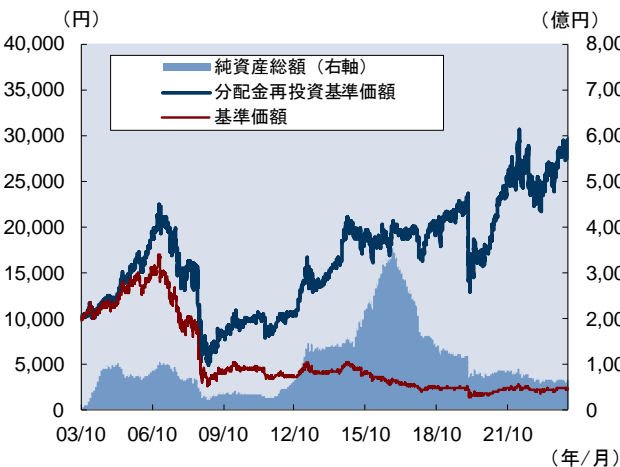
■設定・運用

2024年5月31日現在

基準価額: 2,340円  
純資産総額: 615.2億円

設定日: 2003年10月27日  
決算日: 毎月23日(ただし、休業日の場合は翌営業日)  
信託期間: 原則として無期限

設定来基準価額推移



期間別騰落率(%)

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド (分配金再投資)	1.50	0.56	8.43	17.46	32.39	37.50	187.55

分配金実績(円)(1万口当たり、税引前)

設定来累計: 13,450円

決算日	21/6/23	21/7/26	21/8/23	21/9/24	21/10/25	21/11/24
分配金	10	10	10	10	10	10
決算日	21/12/23	22/1/24	22/2/24	22/3/23	22/4/25	22/5/23
分配金	10	10	10	10	10	10
決算日	22/6/23	22/7/25	22/8/23	22/9/26	22/10/24	22/11/24
分配金	10	10	10	10	10	10
決算日	22/12/23	23/1/23	23/2/24	23/3/23	23/4/24	23/5/23
分配金	10	10	10	10	10	10
決算日	23/6/23	23/7/24	23/8/23	23/9/25	23/10/23	23/11/24
分配金	10	10	10	10	10	10
決算日	23/12/25	24/1/23	24/2/26	24/3/25	24/4/23	24/5/23
分配金	10	10	10	10	10	10

上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。

上記の基準価額、分配金再投資基準価額および期間別騰落率は信託報酬(詳細は、後述の「ファンドの費用」をご参照ください。)控除後のものです。分配金再投資基準価額およびファンド(分配金再投資)の騰落率は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

組入上位銘柄\*1

合計 28 銘柄

(ご参考)当月における基準価額変動の要因分析

銘柄	業種(セクター)	比率
1 プロロジス	オフィス・産業用施設	9.7%
2 エクイニクス	多業種投資型	8.7%
3 ウェルタワール	医療・介護施設	6.8%
4 エクストラ・スペース・ストレージ	貸倉庫	5.8%
5 パブリック・ストレージ	貸倉庫	5.4%
6 デジタル・リアルティートラスト	多業種投資型	5.1%
7 VICIプロパティーズ	多業種投資型	4.6%
8 アバロンベイ・コミュニティーズ	住宅	4.4%
9 アメリカン・タワー	多業種投資型	4.3%
10 アレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズ	オフィス・産業用施設	3.8%

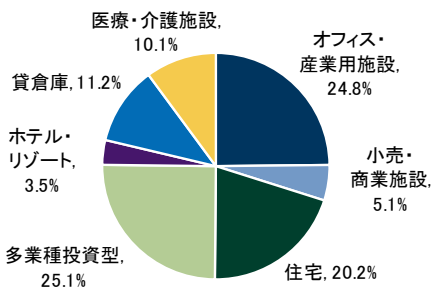
当月末基準価額	2,340	(1万口当たり、円)
前月末基準価額	2,315	
当月の変動額	25	
価格要因	37	
配当要因	2	
為替要因	-2	
分配金	-10	
その他*2	-2	

\*2 その他には、現金、信託報酬等による要因を含みます。

上記は簡便法に基づく概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。各要因の数値は円未満を四捨五入して表示しているため、その合計は各要因の合計と合わない場合があります。

上記は現金等を除いたデータです。

業種(セクター)別比率\*1



ポートフォリオ情報\*1

ファンド構成銘柄配当利回り 3.7%  
参考指標配当利回り 4.2%

上記のファンド構成銘柄配当利回りは、費用、税金、信託報酬控除前のものです。また、実際の分配金利回りとは異なります。  
参考指標: MSCI米国REITインデックス

実質組入比率

米国リート 97.9%  
現金等 2.1%

実質組入比率とは、本ファンドがマザーファンドを通じて組み入れている各資産の比率です。

上記は現金等を除いたデータです。

\*1 マザーファンドに基づくデータです。

上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場動向等を勘案して随時変更されます。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込

■設定・運用

愛称: コロンブスの卵  
Cコース(年1回決算型、為替ヘッジあり)  
追加型投信/海外/不動産投信

2024年5月31日現在

基準価額: 10,181円

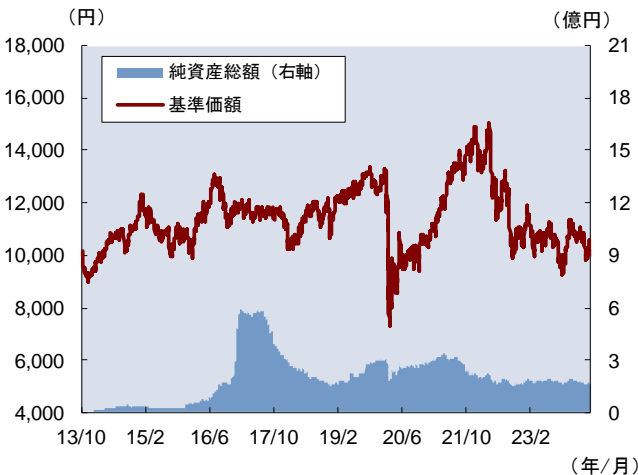
純資産総額: 1.6億円

設定日: 2013年10月23日

決算日: 毎年10月23日(ただし、休業日の場合は翌営業日)

信託期間: 原則として無期限

設定来基準価額推移



期間別騰落率(%)

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	1.06	-5.06	-2.00	-2.31	-17.84	-16.84	1.81

分配金実績(円)(1万口当たり、税引前)

設定来累計: 0円

決算日	18/10/23	19/10/23	20/10/23	21/10/25	22/10/24	23/10/23
分配金	0	0	0	0	0	0

運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。  
上記の基準価額および期間別騰落率は信託報酬(詳細は、後述の「ファンドの費用」をご参照ください。)控除後のものです。

組入上位銘柄\*1

合計 28 銘柄

銘柄	業種(セクター)	比率
1 プロロジス	オフィス・産業用施設	9.7%
2 エクイニクス	多業種投資型	8.7%
3 ウェルタワール	医療・介護施設	6.8%
4 エクストラ・スペース・ストレージ	貸倉庫	5.8%
5 パブリック・ストレージ	貸倉庫	5.4%
6 デジタル・リアルティートラスト	多業種投資型	5.1%
7 VICIプロパティーズ	多業種投資型	4.6%
8 アバロンベイ・コミュニティーズ	住宅	4.4%
9 アメリカン・タワー	多業種投資型	4.3%
10 アレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズ	オフィス・産業用施設	3.8%

上記は現金等を除いたデータです。

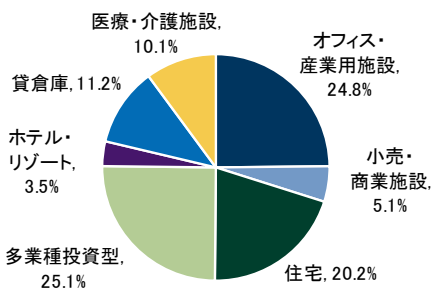
(ご参考)当月における基準価額変動の要因分析

当月末基準価額	10,181	(1万口当たり、円)
前月末基準価額	10,074	
当月の変動額	107	
価格要因	160	
配当要因	9	
分配金	0	
その他*2	-62	

\*2 その他には、為替ヘッジによるヘッジ・コスト、現金、信託報酬等による要因を含みます。

上記は簡便法に基づく概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。各要因の数値は円未満を四捨五入して表示しているため、その合計は各要因の合計と合わないことがあります。

業種(セクター)別比率\*1



ポートフォリオ情報\*1

ファンド構成銘柄配当利回り	3.7%
参考指標配当利回り	4.2%

上記のファンド構成銘柄配当利回りは、費用、税金、信託報酬控除前のものです。また、実際の分配金利回りとは異なります。  
参考指標: MSCI米国REITインデックス

実質組入比率

米国リート	97.2%
現金等	2.8%

実質組入比率とは、本ファンドがマザーファンドを通じて組み入れている各資産の比率です。

上記は現金等を除いたデータです。

\*1 マザーファンドに基づくデータです。

上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場動向等を勘案して随時変更されます。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込

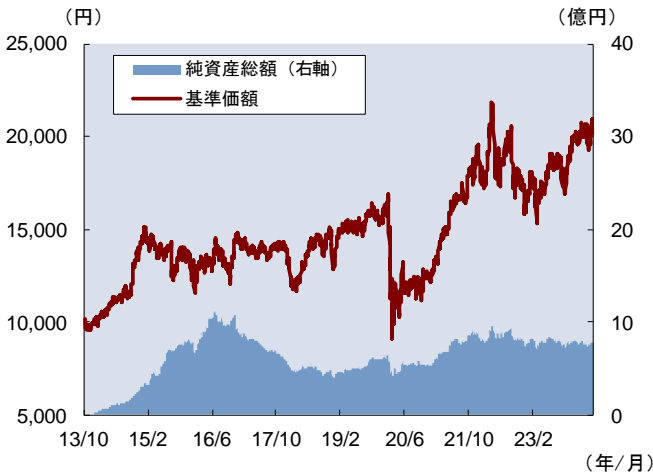
■設定・運用

2024年5月31日現在

基準価額: 20,337 円  
純資産総額: 7.9 億円

設定日: 2013年10月23日  
決算日: 毎年10月23日(ただし、休業日の場合は翌営業日)  
信託期間: 原則として無期限

設定来基準価額推移



期間別騰落率(%)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	1.49	0.59	8.37	17.14	31.49	36.00	103.37

分配金実績(円)(1万口当たり、税引前)

設定来累計: 0円

決算日	18/10/23	19/10/23	20/10/23	21/10/25	22/10/24	23/10/23
分配金	0	0	0	0	0	0

運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。  
上記の基準価額および期間別騰落率は信託報酬(詳細は、後述の「ファンドの費用」をご参照ください。)控除後のものです。

組入上位銘柄\*1

合計 28 銘柄

銘柄	業種(セクター)	比率
1 プロロジス	オフィス・産業用施設	9.7%
2 エクイニクス	多業種投資型	8.7%
3 ウェルタワース	医療・介護施設	6.8%
4 エクストラ・スペース・ストレージ	貸倉庫	5.8%
5 パブリック・ストレージ	貸倉庫	5.4%
6 デジタル・リアルティートラスト	多業種投資型	5.1%
7 VICIプロパティーズ	多業種投資型	4.6%
8 アバロンベイ・コミュニティーズ	住宅	4.4%
9 アメリカン・タワー	多業種投資型	4.3%
10 アレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズ	オフィス・産業用施設	3.8%

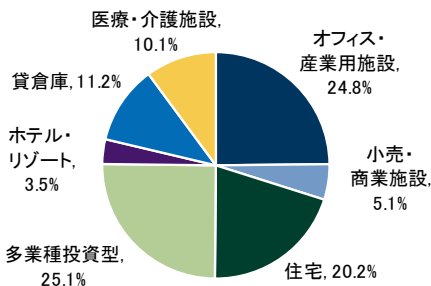
上記は現金等を除いたデータです。

(ご参考)当月における基準価額変動の要因分析

当月末基準価額	20,337	(1万口当たり、円)
前月末基準価額	20,039	
当月の変動額	298	
価格要因	319	
配当要因	18	
為替要因	-15	
分配金	0	
その他*2	-24	

\*2 その他には、現金、信託報酬等による要因を含みます。  
上記は簡便法に基づく概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。各要因の数値は円未満を四捨五入して表示しているため、その合計は各要因の合計と合わないことがあります。

業種(セクター)別比率\*1



ポートフォリオ情報\*1

ファンド構成銘柄配当利回り	3.7%
参考指標配当利回り	4.2%

上記のファンド構成銘柄配当利回りは、費用、税金、信託報酬控除前のものです。また、実際の分配金利回りとは異なります。  
参考指標: MSCI米国REITインデックス

実質組入比率

米国リート	96.6%
現金等	3.4%

実質組入比率とは、本ファンドがマザーファンドを通じて組み入れている各資産の比率です。

上記は現金等を除いたデータです。

\*1 マザーファンドに基づくデータです。

上記は基準日時点におけるデータであり、将来の成果を保証するものではなく、市場動向等により変動します。また、ポートフォリオの内容は市場動向等を勘案して随時変更されます。

■投資信託説明書(交付目録見書)のご請求・お申込

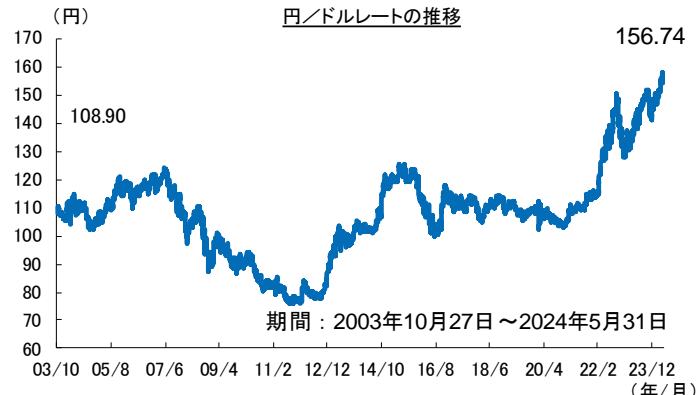
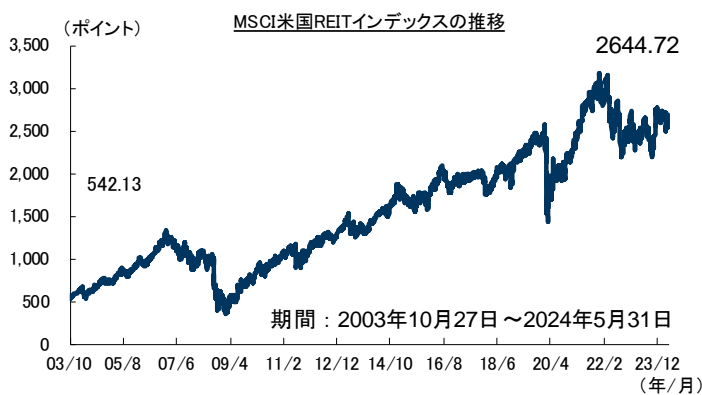
■設定・運用

運用チームのコメント

2024年5月末現在

市場環境

米国リート市場は上昇しました。追加利上げ懸念がくすぶり続けるなか、米ISM(供給管理協会)製造業/非製造指数や雇用統計、消費者物価指数など主要経済指標からは米経済の減速を示唆する内容が相次ぎ、また月初のFOMC(米連邦公開市場委員会)でも次のアクションは利下げとの期待を残すものとなっていたため、金利低下を伴った株式市場の回復と合わせてリート市場は反発が鮮明となり、前月に下げ幅の大きかった物流、通信塔、データセンターなどをけん引役に上昇しました。月後半は金融当局高官から利下げに慎重な発言が目立ったため、米金利低下が一服し、米国リート市場はやや上値を消しましたが、前月比ではプラスで終えました。



上記は過去のデータであり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。

出所: ブルームバーグ

運用状況

米国リート市場において、当社では不動産の需給環境や資金調達環境などを注視しています。前年は米利上げが2年目を迎え、インフレ指標にピークアウトの兆しが見られた一方で地方銀行の経営破綻など、政策の影響が随所に顕在化しました。断続的に地政学上の衝突や懸念材料が意識されるなか、製造拠点の国内回帰やAI(人工知能)の発展といったテーマが意識されました。2024年に入り、米国リート市場は高金利を受けた景気サイクルに基づく需給動向の変化とオフィスを筆頭に構造的な需要低下が並行するなか、上値の重い展開が続きましたが、足元では金融政策面で緩和への政策転換が意識されるようになり、持ち直しの動きとなっています。ただし、回復局面にあるとはいえ、金融引き締めによる経済の下押し効果は続くことから幅広いセクターでの動きというよりは、不動産の立地やテナントのファンダメンタルズの違いによる選別色が依然強まる可能性があるとのみ、需給環境を踏まえたクオリティ重視の銘柄選択が重要だと考えています。

当社では、中長期的に、相対的に高い配当利回り、成長性の高さ、分散効果、インフレ・ヘッジなどの利点から、リートは引き続き魅力的な投資対象であると考えます。ポートフォリオ構築の観点からは、バランスシートが良好で、強固なビジネス・モデルを持ち、質の高い資産を保有し、優秀な経営陣を擁する企業に焦点を当てて投資します。

上記に記載された市況や見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。

Aコース、Bコースの直近決算(第244期、2024年5月23日)における分配金の状況

	Aコース	Bコース
税引前分配金	5円	10円
経費控除後の 利子・配当等収益	1.7円	1.7円
分配原資※	239.2円	2,068.5円

分配金、経費控除後の利子・配当等収益、分配原資は全て1万口当たりの金額です。  
※ 分配原資とは、投資信託財産のうち分配として支払うことが可能な資金を指します。つまり、経費を控除した後の利子・配当収入や売買益、評価益等の当期収益に加え、これまでに蓄積された分配準備積立金や収益調整金(信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分)等を合計した金額です。

運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込

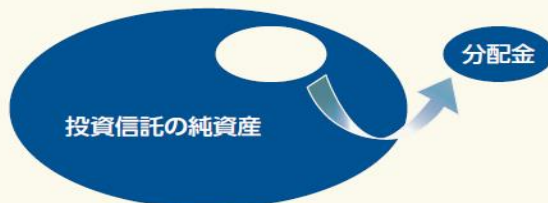
■設定・運用

※くわしくは最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込の詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

収益分配金に関わる留意点

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

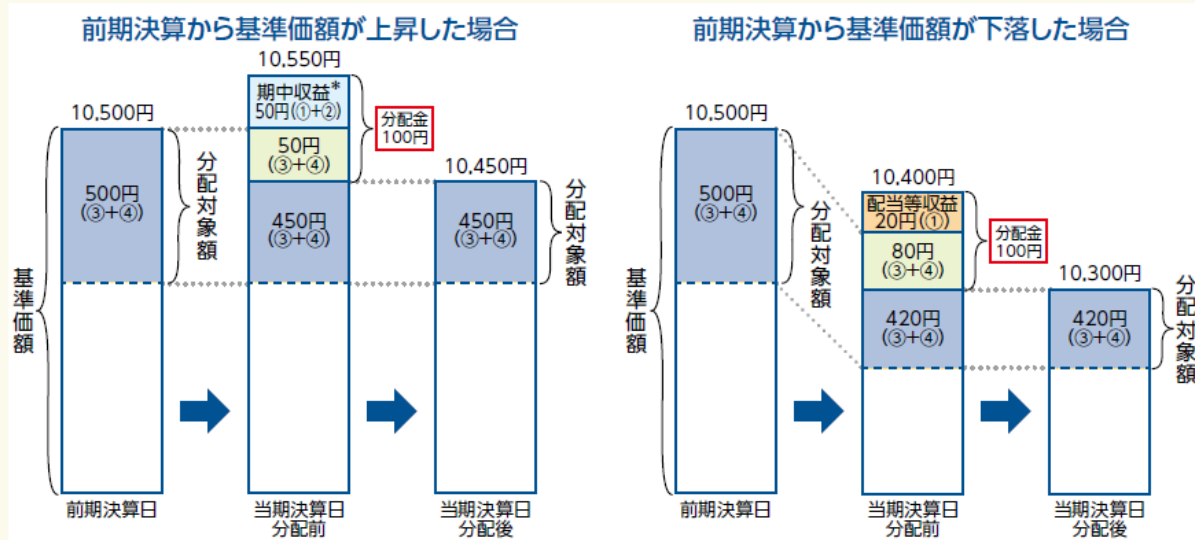


分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金(当該計算期間よりも前に累積した配当等収益および売買益)④収益調整金(信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分)です。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



\*上図の期中収益は以下の2項目で構成されています。



※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

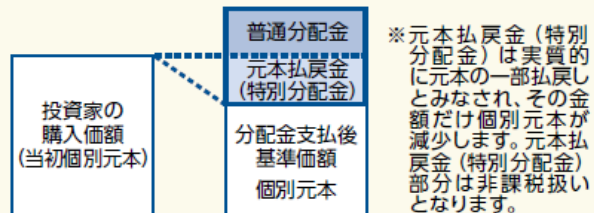
上記のとおり、分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合がありますので、元本の保全性を追求される投資家の場合には、市場の変動等に伴う組入資産の価値の減少だけでなく、収益分配金の支払いによる元本の払戻しにより、本ファンドの基準価額が減価することに十分ご注意ください。

※くわしくは最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込の詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

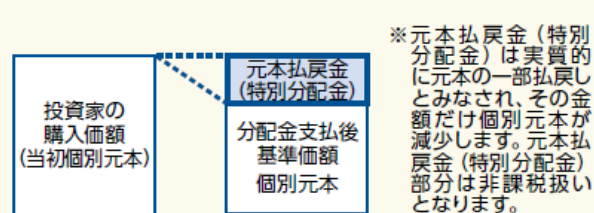
## 収益分配金に関わる留意点(続き)

投資家のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の基準価額の値上がり、支払われた分配金額より小さかった場合も実質的に元本の一部払戻しに相当することがあります。元本の一部払戻しに該当する部分は、元本払戻金(特別分配金)として非課税の扱いになります。

### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(投資家のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資家の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

## ファンドの特色

1. 米国に上場されているREIT(リート、不動産投資信託)を主要投資対象とします。
2. <Aコース/Bコース>  
米国リートからの配当収益や売買益(評価益を含みます。)等の中から、原則として毎月分配を行うことをめざします。  
<Cコース/Dコース>  
米国リートに分散投資を行うことにより、配当収益の獲得を図りつつ、長期的な元本の成長をめざします。
3. 為替ヘッジありのコース(AコースおよびCコース)、為替ヘッジなしのコース(BコースおよびDコース)があります。
4. さまざまなセクターに分散されたMSCI米国REITインデックスを運用上の参考指標とします。

本ファンドのAコースおよびCコースはMSCI米国REITインデックス(円ヘッジ・ベース)、BコースおよびDコースはMSCI米国REITインデックス(円ベース)を運用上の参考指標とします。

為替ヘッジにはヘッジ・コストがかかります。

運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

本ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。委託会社は、本ファンドおよび米国REITマザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)の運用をゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー(投資顧問会社。以下「GSAMニューヨーク」といいます。)に委託します。GSAMニューヨークは運用の権限の委託を受けて、リートの運用を行います。委託会社が属するゴールドマン・サックスの資産運用部門を「ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント」といいます。本ファンドを「コロンブスの卵」といいます。文脈上「本ファンド」および「コロンブスの卵」にマザーファンドを含むことがあります。

※くわしくは最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込の詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額が変動します。また、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。信託財産に生じた損益はすべてご投資家の皆さまに帰属します。

### 主な変動要因

#### リート投資リスク

本ファンドは、米国のリート(不動産投資信託)を主要な投資対象としますので、本ファンドへの投資には、リート投資にかかる価格変動等のさまざまなリスクが伴うことになります。

本ファンドの基準価額は、リート等の組入資産の値動きにより大きく変動することがあります。特に米国のリート市場の下降局面では、本ファンドの基準価額は大きく下落する可能性が高いと考えられます。リートへの投資リスクとして、主に以下のものが挙げられます。

#### ■ 価格変動リスク

一般に、リートの市場価格は、リートに組み入れられる個々の不動産等の価値や一般的な市場・経済の状況に応じて変動します。したがって、本ファンドに組み入れられるリートの市場価格は下落する可能性があります。

#### ■ 収益性悪化リスク

リートは、その収益の大部分を賃料収入が占めていますが、賃料や稼働率の低下によって賃料収入が低下すること等により、収益性が悪化することがあります。また、収益性の悪化がリートの市場価格の下落をもたらすこともあります。

#### ■ 信用リスク

リートの資金繰りや収益性の悪化によりリートが清算され、投資した資金を回収できないこともあります。

#### 為替変動リスク

本ファンドの主要な投資対象である米国のリートは、原則として米ドル建てとなり、したがって本ファンドへの投資には為替変動リスクが伴います。とりわけ、対円で為替ヘッジを行わないBコースおよびDコースでは為替変動の影響を直接的に受け円高局面ではその資産価値を大きく減少させる可能性があります。AコースおよびCコースは、対円で為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、為替ヘッジを行うにあたりヘッジコストがかかります。(ヘッジコストは、為替ヘッジを行う通貨の金利と円の金利の差が目安となり、円の金利のほうが低い場合、この金利差分収益が低下します。)



※くわしくは最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。お申込の詳細については、販売会社にお問い合わせのうえ、ご確認ください。

お申込メモ(三井住友銀行でお申込の場合)

■お申込メモ

購入単位	当初購入の場合 20万円以上1円単位 追加購入の場合 1万円以上1円単位	投信自動積立の場合 1万円以上1千円単位 スイッチングの場合 1円以上1円単位
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額	
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額	
換金代金	原則として換金申込日から起算して5営業日目からお支払いいたします。	
購入・換金 申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行の休業日(以下「ニューヨークの休業日」といいます。)	
申込締切時間	「ニューヨークの休業日」を除く毎営業日の原則として午後3時まで	
信託期間	原則として無期限 (Aコース/Bコース 設定日:2003年10月27日、Cコース/Dコース 設定日:2013年10月23日)	
繰上償還	各コースについて、受益権の総口数が50億口を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。	
決算日	Aコース/Bコース	毎月23日(ただし、休業日の場合は翌営業日)
	Cコース/Dコース	毎年10月23日(ただし、休業日の場合は翌営業日)
収益分配	Aコース/Bコース	毎月の決算時に原則として収益の分配を行います。 ※運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
	Cコース/Dコース	毎年の決算時に原則として収益の分配を行います。 ※運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。
信託金の限度額	各コース合計で2兆円を上限とします。	
スイッチング	スイッチング(乗換え)につきましては、販売会社にお問い合わせください。 ※スイッチングの際には換金(解約)されるファンドに対して換金にかかる税金が課されることにご留意ください。	
課税関係 (個人の場合)	課税上は株式投資信託として取扱われます。 本ファンドは、少額投資非課税制度(NISA)の適用対象ではありません。 配当控除の適用はありません。 原則、分配時の普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の譲渡益が課税の対象となります。	

■ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	原則として購入代金*に応じて、下記の手数料率を購入価額に乗じて得た額となります。 1,000万円未満…………… <b>2.75% (税抜2.50%)</b> 1,000万円以上1億円未満…………… <b>2.20% (税抜2.00%)</b> 1億円以上…………… <b>1.65% (税抜1.50%)</b> *購入時手数料および購入時手数料にかかる消費税等相当額を含みます。
換金時	信託財産留保額	なし

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対して <b>年率1.573% (税抜1.43%)</b> ※運用管理費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、AコースおよびBコースは毎計算期末または信託終了のとき、CコースおよびDコースは毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
	信託事務の諸費用	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、印刷費用など信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.05%相当額を上限として定率で日々計上され、AコースおよびBコースは毎計算期末または信託終了のとき、CコースおよびDコースは毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われます。
随時	その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料や資産を外国で保管する場合の費用等 上記その他の費用・手数料は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※本ファンドは上場リートを実質的な投資対象としております。当該上場リートは市場の需給により価格形成されるため、費用は表示しておりません。また、上記の手数料等の合計額については、ご投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込

■設定・運用

## 委託会社その他関係法人の概要について

- ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(委託会社)  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第325号  
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、  
一般社団法人日本投資顧問業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
信託財産の運用の指図等を行います。
- ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー(投資顧問会社)  
委託会社より運用の指図に関する権限の委託を受けて投資判断・発注等  
を行います。
- みずほ信託銀行株式会社(受託会社)  
信託財産の保管・管理等を行います。
- 株式会社三井住友銀行 他(販売会社)  
本ファンドの販売業務等を行います。

## 投資信託に関する留意点

- 投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体となっている「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。これらは三井住友銀行の本支店等にご用意しています。
- 投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- 投資信託は国内外の株式や債券等へ投資しているため、投資対象の価格の変動、外国為替相場の変動等により投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクやその他のリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。
- 投資信託は預金ではありません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。預金保険については窓口までお問い合わせください。
- 三井住友銀行で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 三井住友銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。

## 本資料のご利用にあたってのご留意事項等

- 本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます。)が作成した資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」等をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。
- 本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載された過去の運用実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資価値および投資によってもたらされる収益は上方にも下方にも変動します。この結果、投資元本を割り込むことがあります。
- 本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。
- 個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、当該個別銘柄の売却、購入または継続保有の推奨を目的とするものではありません。本資料において言及された証券について、将来の投資判断が必ずしも利益をもたらすとは限らず、また言及された証券のパフォーマンスと同様の投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。
- 投資信託は預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。
- 投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者(以下総称して「MSCI当事者」といいます)は、MSCIの情報について一切の保証(独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません)を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害(逸失利益を含みます)およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込

■設定・運用



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号  
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント